



## 少年を加害者にも 被害者にもさせない！



少年課 北九州少年サポートセンター  
平成26年採用 巡査長  
筑紫女学園大学 卒業

### 警察官になったきっかけは？

私は大学時代に社会福祉を学び、社会福祉協議会や精神科病院での実習やボランティア活動を通して、子供から高齢者、身体的・知的・精神的に障がいを持つ方など、様々な人と関わりました。その中で、「社会的に弱い立場の人たちを助きたい」「手を差し伸べるだけでなく、私の手で安全・安心を守りたい」と思い、警察官になりました。

### あなたにとって「福岡県警で働く」とは？

福岡県警で働くということは、これまで私を育ててくれた両親をはじめ、先生や友人など、支えてくれた人への感謝を表すことであり、恩返しです。

生まれてから今日まで数多くの人と出会い、学んだことで今の私が形成されています。

今までの出会いに感謝の気持ちを忘れずに、安心して暮らすことができる街をつくり、恩返ししたいです。

### 印象に残っているエピソードを教えてください。

私は現在、少年サポートセンターで少年相談、少年の立ち直り支援、街頭補導、広報啓発など幅広い業務を行っています。少年と関わるこの仕事の中で印象に残っているのは、親から虐待を受けていた児童が心を開いてくれたことです。

少年は、初めて会った私に警戒心を持ち、顔をうつ伏せ返事もしてくれない、もちろん事件の話など聞くことはできませんでした。しかし、少年と根気強く関わり、信頼関係を築くことで、少しずつ心を開いてくれ、自分の好きなものの話をしてくれるようになり、最後には勇気を出して、心の痛むような被害の話をしてくれました。そのおかげで事件が解決し、少年を取り巻く環境が改善され、少年が笑顔を見せてくれるようになったときには、喜びと達成感を味わうことができました。

### 休日の過ごし方は？

私は、学生時代から旅行が大好きなので、警察官になった今も「思い立ったら、即行動！」をモットーに、休日は行ってみたい場所へ行く、やってみたいことに挑戦するなど、プライベートも全力で楽しむことを心がけています。

体を休めるゆっくりした休日も必要ですが、学生時代の友人や同期生と旅行に行き、いろいろなものを観たり聴いたり、体験したり、美味しいものを食べたりした後は、「また仕事を頑張るぞ！」という活力になります。